

歯科口腔外科

■ スタッフ

科長		新井 直也
副科長		乾 眞登可
医師数	常 勤	15 名
	非常勤	2 名
	研修医	4 名

■ 診療科の特色・診療対象疾患

1. 特色

当科は、三重県唯一の大学病院の歯科・口腔外科として、地元県民のニーズに応えるべく、地域医療機関と連携しながら口腔疾患の予防や治療を行っています。口腔・顎・顔面領域に生じる多様な疾患を対象とし、高次医療機関として口腔がん、顎顔面骨折、歯科インプラント等において先進的な医療を手がけると同時に、治療成績が安定し国内で広く受け入れられている標準治療の提供を心がけています。

2. 主な診療対象疾患

1) 口腔外科疾患

良性・悪性腫瘍、炎症、外傷、嚢胞、発育異常、顎変形症、咀嚼障害、埋伏智歯、歯性上顎洞炎、唾液腺疾患、など

2) 口腔内科疾患

口腔粘膜疾患、神経疾患、など

3) 特殊歯科治療

有病者の全身管理下での歯科治療、身障者の歯科治療、局所麻酔での治療が困難な方の全身麻酔下での歯科治療、入院患者さんの歯科的処置や口腔衛生指導、など

■ 診療体制と実績

初診：月曜～木曜午前、手術：月曜及び金曜日、
外来小手術：月曜及び水曜日午後。

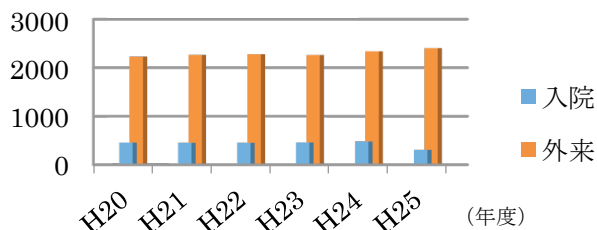
(公) 日本口腔外科学会口腔外科指導医、専門医及び認定医、(社) 日本がん治療認定医機構がん治療暫定教育医及び認定医 (歯科口腔外科)、(公) 日本矯正歯科学会認定医が常勤として診療を行っています。

また、県内の関連病院である紀南病院、伊勢赤十字病院、三重中央医療センター、三重病院、榊原温泉病院、南勢病院、鈴鹿病院、いなば園、

障害者歯科センター、あすなろ学園に当科から歯科医師を派遣しています。

外来初診患者数 (H25 年度実績) : 約 232 名/月、
外来延べ再来患者数 : 約 1770 名/月、入院患者数 :
約 25 名/月、病床数 : 14 床、外来ユニット数 : 12
台、全身麻酔症例数 : 約 20 名/月、鎮静麻酔症例数 :
1~3 名/月、外来小手術症例数 : 約 110 名/月。

＜外来初診患者数/入院患者数の推移＞
(人)



■ 診療内容の特色と治療実績

1. 診療内容の特色

- 下顎の埋伏智歯の抜歯における合併症の一つに、下歯槽神経障害による下唇・オトガイ部の知覚麻痺があります。当科では歯科用 CT を用いて智歯と神経の関係を詳細に分析し、本合併症のリスク低減に努めています。
- 顎骨腫瘍、顎変形症、顎顔面骨折、顎骨再建等の治療において、CT による 3 次元構築画像や 3D プリンターを用いた立体模型を積極的に活用しています。
- 口腔がんの局所進展症例や切除不能な再発症例に対し、放射線治療科の協力のもと超選択的動注化学療法を行っています。
- 歯科インプラント治療では、年間約 40 例のインプラント埋入手術を行っています。歯槽骨の萎縮により埋入時に骨造成を必要とする症例を多く手がけ、約半数はインプラント埋入時に骨造成を併用しています。骨造成には、GBR、ブロック骨移植、上顎洞底挙上術 (サイナスリフト)、歯槽骨延長術を適宜選択し、インプラント適応症例の拡大を図っています。
- がんや心臓の手術、臓器移植、あるいは、がんの化学療法、頭頸部領域の放射線治療において、口腔衛生状態の改善が術後の創部感染や肺炎の予防に有効であり、在院日数の短縮に寄与することが認知されています。当院で

は、平成 25 年 6 月に口腔ケアセンターを立ち上げ、周術期の口腔衛生管理への系統的な取り組みを開始しています。

- 当科では歯科矯正専門医が月 1 回診察を行っています。顎変形症など口腔外科疾患に関連した矯正治療を中心に行っていますが、広く不正咬合全般について診察・相談を行っています。

2. 診療実績

<入院患者数（平成 25 年度実績）>

【悪性腫瘍】	21
【良性腫瘍】	25
【外傷（プレート除去含）】	30
【炎症】	13
【嚢胞性疾患】	38
【顎関節疾患】	2
【埋伏智歯】	94
【口腔粘膜疾患】	2
【上顎洞関連疾患】	5
【唾液腺関連疾患】	2
【入院下歯科治療症例】	37
【インプラント関連】	7
【顎変形症】	1
合計	277

<主な手術件数（全麻、鎮静症例）>

【悪性腫瘍】	21
【良性腫瘍】	25
【顎骨骨折】	30
【嚢胞性疾患】	38
【顎関節疾患】	2
【埋伏智歯】	94
【上顎洞関連疾患】	5
【唾液腺関連疾患】	2
【歯科治療】	10
【欠損（インプラント関連）】	39
【顎骨骨髓炎】	5
【顎変形症】	1
合計	272

健に関する総合的な知識と技術を習得し、歯科医師に求められる基本的な診療能力を身につけることです。口腔外科外来・病棟への配慮に加え、研修プログラムに麻酔科研修を取り入れています。

これまでの臨床研修医受け入れ実績は、H20 年度 9 名、H21 年度 6 名、H22 年度 1 名、H23 年度 5 名、H24 年度 5 名、H25 年度 4 名です。

■ 今後の展望

- 口腔がんは多くが肉眼で確認できる部位に発生します。地域の歯科医師会と連携し、健診や啓蒙活動を通して口腔がんの早期発見・早期治療につとめます。
- 一般歯科矯正では治療が困難な不正咬合に対し、外科矯正手術やアンカーインプラントを用いた咬合改善治療を積極的に行います。
- 当院には眼窩、鼻部、上顎にまたがる中顔面骨折が多く救急来院されます。各科と連携し速やかに治療を開始し、術後の機能や審美性の改善に寄与していきます。
- 口腔インプラント等を用いた口腔・顎顔面の機能再建にこれからも取り組んでいきます。
- 口腔ケアセンターを介して、他科治療中の方の支持療法の一環としての口腔衛生管理や指導を担当します。また、かかりつけ歯科医での治療が困難な有病者等の歯科治療を行います。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/> (ホームページ)

■ 臨床研修教育

歯科臨床研修の目的は、口腔領域の医療と保